

平成 27 年度 事 業 報 告 書

1 正会員数

期 首	69
入 会	0
退 会	3
期 末	66

2 施設使用状況

(1) 収入額

施 設	27 年度	前年度	増減	比率 (%)
1 展示場				
① 使用件数	106 件	106 件	0 件	100
② 使用日数	291 日	310 日	△19 日	94
③ 収入額	7,559 万円	8,329 万円	△770 万円	91
2 事務室				
① 入居団体数	8 団体	8 団体	0 団体	100
② 収入額	2,045 万円	3,005 万円	△960 万円	68
3 駐車場				
① 利用台数	27,941 台	27,163 台	778 台	103
② 収入額	2,524 万円	2,489 万円	35 万円	101
4 店舗				
① 入居店舗数	5 店舗	5 店舗	0 店舗	100
② 収入額	1,032 万円	1,180 万円	△148 万円	87
合 計	13,160 万円	15,003 万円	△1,843 万円	88

(2) 事務室、店舗

① 事務室

平成 28 年 3 月末日をもって、京都産業会館が閉館することにより、各事務室は下記の日程で退去した。

退去日	事務所名
9 月末日	京都市小売商総連合会 京都小売市場連合会 京都府商店街振興組合連合会
10 月 12 日	(公財) 京都中小企業振興センター
12 月末日	(株)アイシーエル
1 月末日	(株)ダイテック
2 月末日	京都府国民年金基金
3 月末日	京都貿易協会

②店舗

各店舗は、下記の最終営業日をもって退去した。

最終営業日	店舗名
1月15日	堀田整美(株)
2月末日	(株)京都交通社
3月末日	(株)アサマ
	(株)有喜屋
	はあと・フレンズ・ストア

3 「平成27年度事業計画」の進捗状況

(1) 会館の存在感向上の取組み

①染織繊維、和装産業及び新規業界など多様な催事の利用促進

ご利用頂いている商社には件数や規模の拡大を依頼し、新規利用促進では、企画プロデュース等の商社や他施設利用者等を中心に誘致を行うとともに、信頼関係の構築に努めた。また、閑散期の利用促進については、特に「新規利用お試しサービス」による誘致を行った。

②創立50周年記念式典の実施

開催日	平成27年9月18日(金)
次第	15時30分～ 創立50周年記念式典(4階展示場)
	16時30分～ メモリアルトークショー(4階展示場)
	17時30分～ 創立50周年記念祝賀会(3階展示場)
出席者数	197名

③営業活動・PRの拡充及び愛称「きらっ都プラザ」の普及促進

(2) 顧客満足度向上を図るための取組み

展示場に関する諸設備改善の一環として、常に清潔で快適な空間を提供するため、Pタイル破損部の貼替え、床面のワックス剥離洗浄及びワックス塗布を実施するとともに、壁面・大梁部の塗装を行った。

(3) 安心、安全なビルの定着

- ①会館1階北東部(四条通側)の歩道が陥没したことから調査したところ、会館排水管の破損を確認したため、補修工事を行った。
- ②地下1階南側の自動扉駆動部が経年により作動不良となったため、緊急取替工事を行った。
- ③駐車場スロープ壁面上部に敷設している高圧ケーブルの保護アングルに、トラックが接触し破損したことから、保護アングルの補強工事を行った。

(4) 公益法人としての取組み

①継続事業の推進

引き続き、地場産業の振興及び市民生活の向上に資する団体への事務室の

貸与を行うとともに、同趣旨を目的とした展示会等に展示場の貸与を行った。

※事務室 京都貿易協会他 5 団体

※展示場 件数・41 件、日数・63 日、使用料・17,913,680 円

また、会員をはじめ当会館に係る諸団体・商社の方々を対象に、ビジネス等に役立つ講演会を次のとおり開催した。

日	時	平成 27 年 6 月 18 日 (木)	10 時～11 時 20 分
場	所	ホテル日航プリンセス京都	3 階
講	師	小嶋 光信 氏 (両備グループ代表 兼 CEO)	
演	題	廃線危機から学ぶ～「たま」 駅長と事業再生～	
受	講 者 数	52 名	

②地球環境問題への対応

K E S (ステップ 1) 認証基準に準じ、引き続き電気使用量の削減、環境啓発活動の推進に取り組んだ。

(5) 産学公連携による産業振興事業の推進

和装産業振興対策として、

ア 京都市との連携事業

前年度に引き続き、3 月の伝統産業の日の関連イベントとして、市内の中学生及び高校生を対象とした「中高生限定！きもの着付け&和文化体験」を次のとおり実施した。

目 的	和装産業をはじめとする伝統産業に対する理解や知識を深め、伝統産業の振興に資することを目的に、市内中高生を対象に、きもの着付け体験等を実施する。
日 時	平成 28 年 3 月 12 日 (土) 10 時～17 時
会 場	京都産業会館・3 階展示場
内 容	10 時～ 開会、きもの着付け体験 11 時 30 分～ 昼食 12 時 15 分～ 和文化体験 (①～⑤)、市内自由散策 ①和菓子づくり体験 (亀屋良長)、②風呂敷包み方講座 (唐草屋)、 ③生け花体験 (池坊会館)、④京鹿の子絞体験 (京鹿の子絞振興協同組合)、⑤記念撮影体験 (プロカメラマン) 16 時 30 分～ 集合、順次解散
主 催	京都市、「伝統産業の日」実行委員会
共 催	(一社) 京都産業会館
協 力	(公財) 京都和装産業振興財団
応募対象	京都市内に在住又は通学の中学生・高校生
定 員	200 名 (先着順)
参加費	無料

参加者数	186名（中学生／男性4名・女性136名、高校生／男性3名・女性43名）
内 容	着付け指導や和文化体験等を実施したほか、市内自由散策では、きもの姿を活用して、地下鉄・市バスきもの無料乗車やきものでおでかけ入場無料施設等を促した。

イ 京都織物卸商業組合との連携事業

京都きものオーディション開催委員会（京都織物卸商業組合他6団体）主催の「京都きものオーディション（2016 京都・ミスきもの選考会）事業」に共催として本年度も支援協力を行った。

ウ THE COMPE きものと帯の実施

前年度に引続き、京都市域に位置する大学や専門学校等の学生を対象とした、きものと帯のデザインコンペの実施に伴い、同コンペ実行委員会を設置のうえ、9月から作品募集（11月25日締切）を行うとともに、学校（協力先）と連携して図案制作に役立つよう、きものと帯の意匠法や基礎知識が学べる「きものデザイン講座」（10月～11月）をキャンパス等で開講した。

講座受講者数	260名（前年度は163名）
応募作者数	97名（前年度は109名）
応募作品数	127点（前年度は136点）
応募作者在籍校数	14校（前年度は20校）

応募作品は、同実行委員会（委員長は日本画家の上村淳之氏）で構成された審査委員14名による審査会（12月9日開催）において、デザインの観点から総合的に審査を行って頂き、入賞の最優秀賞1点（京都市長賞）、優秀賞7点（近畿経済産業局長賞、京都商工会議所会頭賞、京都織物卸商業組合理事長賞、西陣織工業組合理事長賞、京友禅協同組合連合会理事長賞、京都新聞賞、公益社団法人京都デザイン協会）と入選8点を選定した。

作品の展示公開は、「伝統産業の日」実行委員会（事務局は京都市）並びにホテルグランヴィア京都の協賛を得て、同ホテルにおいて「入賞・入選作品展」を開催したほか、入賞作者の表彰等についても次のとおり举行了。

	作品の展示公開	入賞作者の表彰等
催事名	H27年度 THE COMPE きものと帯 入賞・入選作品展 (伝統産業の日 2016 関連事業)	H27年度 THE COMPE きものと帯 授賞式 (懇親会を含む)
日 時	平成 28 年 3 月 16 日～31 日	平成 28 年 3 月 16 日 17 時～20 時
会 場	ホテルグランヴィア京都 2 階ロビー	ホテルグランヴィア京都 3 階「源氏の間」

なお、最優秀賞「京都市長賞」（きもの1点）の作品は、京都染織青年団体協議会を中心とした産学公連携により、図案から製品化し、作品展で公開した

のち、受賞者に副賞として贈呈した。

エ はあと・フレンズ・プロジェクト推進協議会との連携

前年に引続き、心身障害者授産施設展示販売所「はあと・フレンズ・ストア」
(平成 23 年 10 月 1 日開設) の地代等助成金を支出した。

(6) 達成目標

項 目	目 標 [前年度実績維持]	達 成 状 況 [達成率]
展示場の使用料収入 (件 数)	8,200 万円 (105 件)	7,559 万円 [92%] (106 件 [101%])

4 会館管理業務

(1) 主な修繕実績

[共用部分]

- ①北側排水埋設管（主排水管・雨水排水管）補修工事 34 万円
- ②電機室エアコン移設工事 14 万円

[専有部]

- ①B1 階自動ドア開閉装置取替工事 16 万円
- ②3.4 階展示場塗装工事 405 万円
- ③3.4 階展示場ワックス塗布 90 万円
- ④高圧ケーブル保護アングル補強工事 15 万円

(2) 環境保全業務

- ① 8 月 12 日 上水道用受水槽・高置水槽清掃
- ② 8 月 24 日 } 汚水槽清掃
- 2 月 27 日 }
- ③ 8 月 10 日 } 全館一斉害虫駆除
- 2 月 25 日 }

(3) 防災業務

- ①7 月 28 日～29 日 自動火災報知設備の法定点検を実施
- ②9 月 28 日 非常用発電機の法定点検を実施

5 庶務事項

(1) 事務局職員

事務局長以下 4 名（12 月末、職員 1 名退職）

(2) 会議

①役員会

会議名	開催日	議事内容
監事会	5月18日	・平成26年度決算の監査
理事会①	5月28日	・第51期通常総会に付議すべき事項等
通常総会	6月18日	・平成26年度事業報告書及び決算 ・理事・監事の一部改選（案） ・平成27年度事業計画及び予算
臨時理事会	7月7日	・「京都経済センター」（仮称）の建築構想 ・「創立50周年記念式典」実施計画
理事会②	10月28日	・処務規程17条の別表作成 ・マイナンバー制度実施に伴う就業規則の変更等 ・平成27年度事業報告 ・「京都経済センター」（仮称）の進捗状況
理事会③	3月23日	・平成28年度事業計画（案）及び予算（案） ・仮事務所への移転 ・平成27年度事業報告 ・「京都経済センター」（仮称）の進捗状況

②区分所有者連絡協議会

開催日	議事内容
12月15日	・28年4月の完全退去までの保守契約及び 会館管理負担金について